



「ふくい省塩プロジェクト」 参画の手引き 【2025.3.17版】

福井県健康福祉部健康医療局健康政策課

目次

1 本プロジェクトのビジョン

2 本プロジェクトの概要

3 参画事業者のメリット

4 参画原則

5 参画の流れ

6 申請内容

7 行動目標の記載例

1 「ふくい省塩プロジェクト」のビジョン

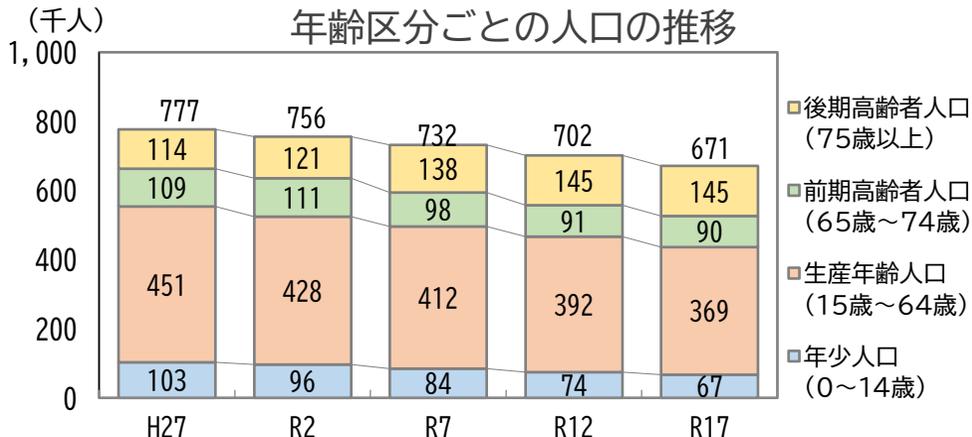
省塩でイキイキとした“ふくい”を実現 食環境の新たなステージへ、みんなで挑戦！

ふくいの優れた食文化を活かしながら、産学官等の関係者が力を結集して
省塩に関する新たな市場を創り出し、県民の健康づくりにも
事業機会の拡大にもつなげる食環境の新たなステージへ挑戦します。
省塩に興味を持つ人が増え、省塩商品を求めるようになり、省塩商品が市場に広がる、
さらに、商品・レシピの省塩化が進み、意識せずに省塩行動をとることもできる。
こうした省塩の推進により、健康寿命の延伸を通じて
誰もが安心してイキイキと暮らせる“ふくい”を目指します。

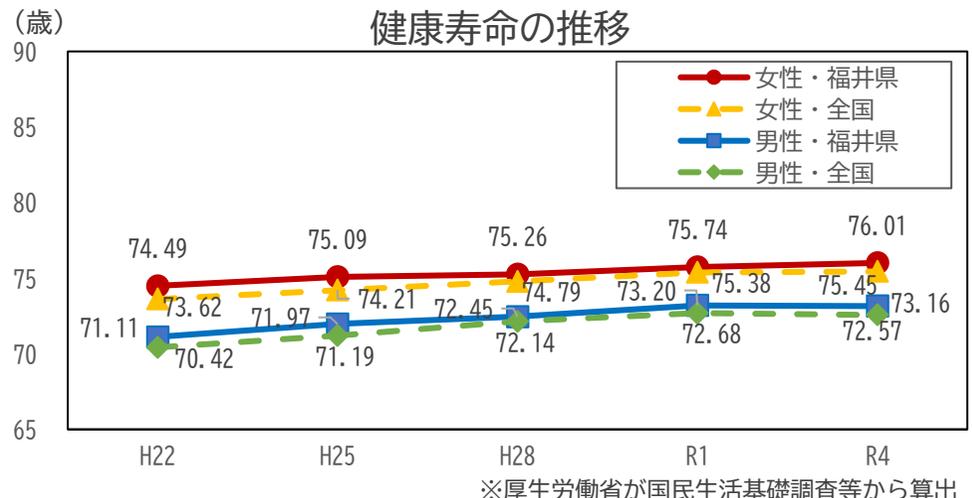
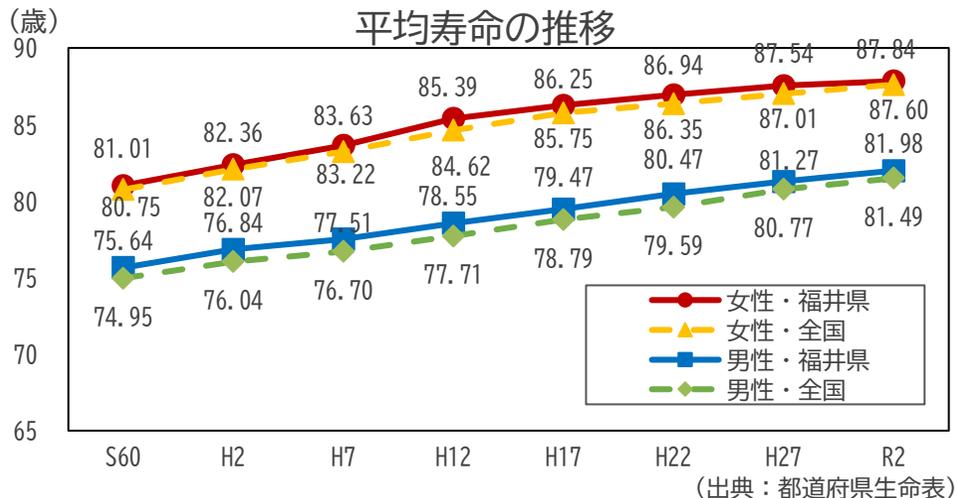
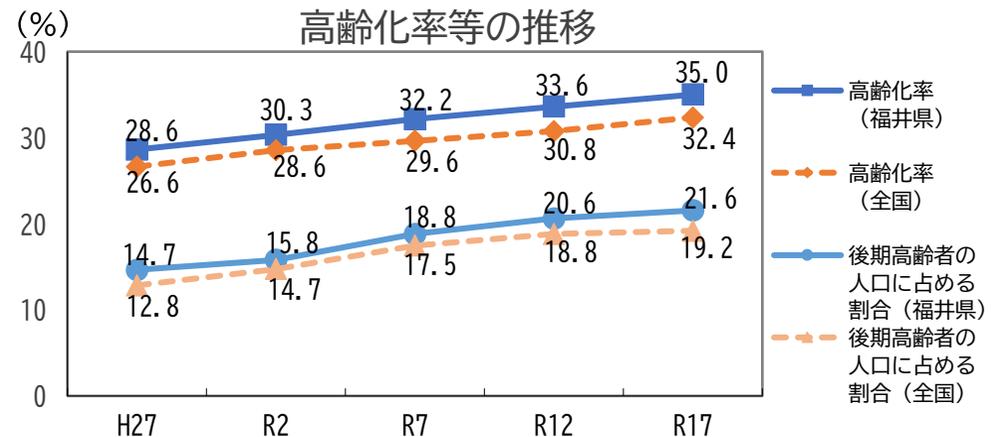
2 プロジェクトの概要 —福井県の健康・栄養課題に関する現状①—

- 福井県では、人口減少と、高齢化が急速に進んでおり、令和17年には、高齢者人口は約24万人(高齢化率35.0%)に増加し、中でも、後期高齢者(75歳以上)は、全人口の21.6%に増加する見込みです。
- 平均寿命と健康寿命の差は短縮してきていますが、人生100年時代に向け、さらなる健康寿命延伸対策が求められています。

※ 健康寿命とは、ある健康状態で生活することが期待される平均期間を表す指標で、算出対象となる集団の各個人について、その生存期間を「健康な期間」と「不健康な期間」に分け、前者の平均値により求めるもの。

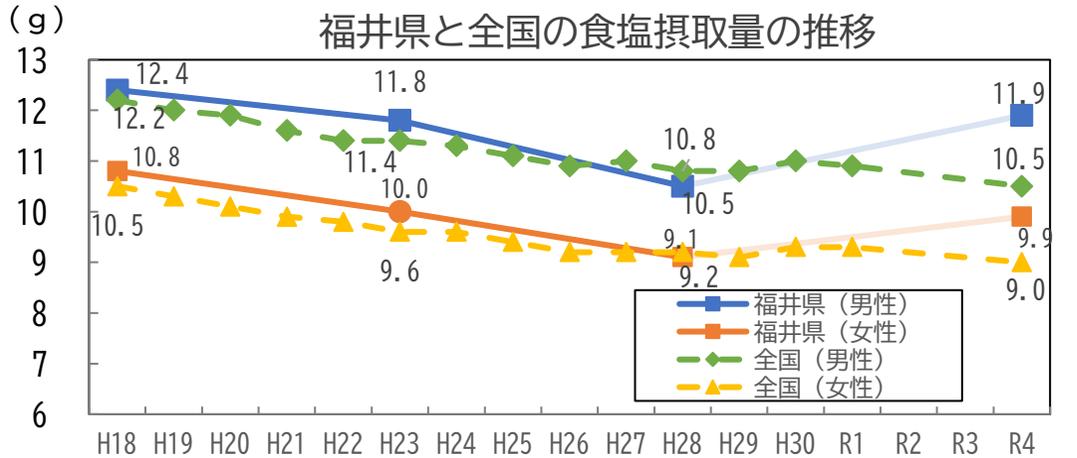


(出典：国勢調査(注：年齢階層別の集計に当たり、年齢不詳の数は除く)、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(令和5年推計))



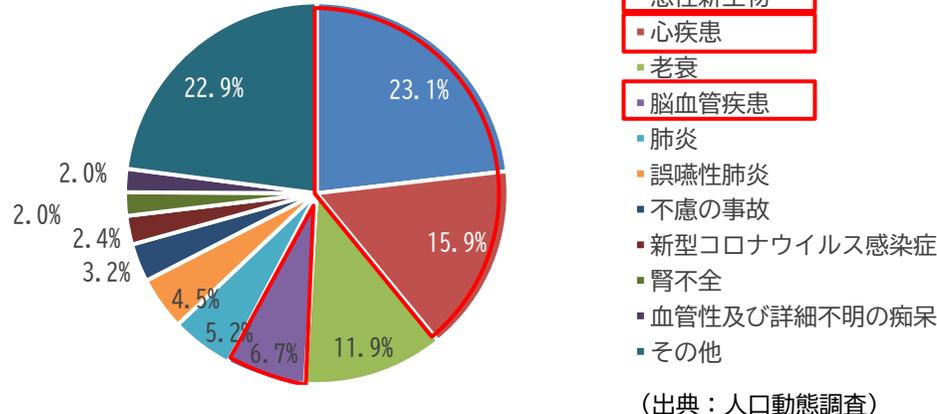
2 プロジェクトの概要 —福井県の健康・栄養課題に関する現状②—

- 福井県の食塩摂取量は減少傾向でしたが、令和4年度調査では増加に転じています。
- 生活習慣病が死亡者数の約5割を占めており、その予防は重要です。
- 生活習慣病による死亡のリスク要因として、食事因子では「塩分の高摂取」が最も高く、省塩(減塩)の取組みが必要不可欠です。

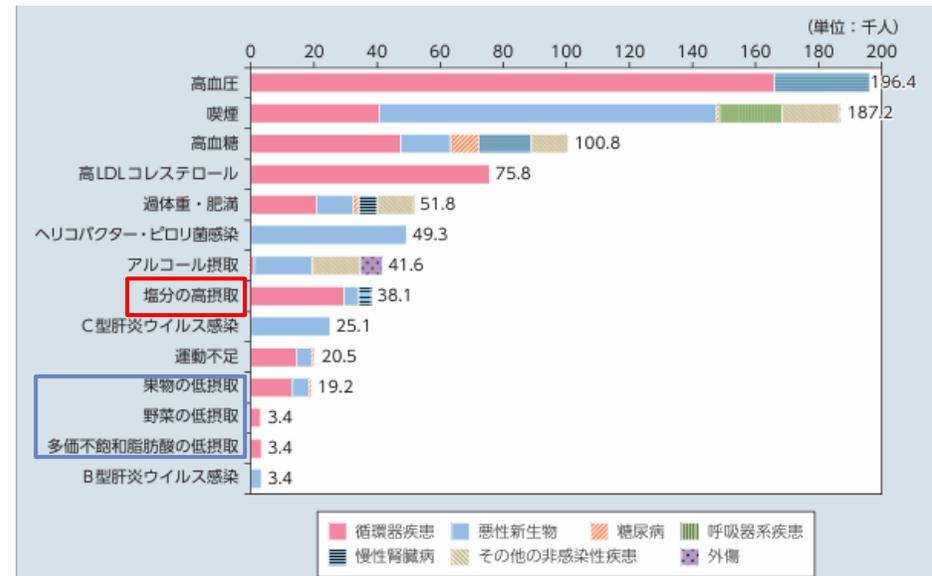


(出典：国民健康・栄養調査、県民健康・栄養調査) ※R4県民健康・栄養調査は調査手法が異なる

福井県の全死因 (令和4年)



リスク要因別の関連死亡者数 (2019年)



(出典：令和6年版厚生労働白書)

2 プロジェクトの概要 —省塩とは—

しょう えん

省 塩 とは

「省塩」とは、「減塩」と同じく、食事から摂取する食塩（ナトリウム）を減らすことをいいます。「減塩して適切な食塩摂取」は健康づくりに欠かせませんが、「減塩」と聞くと、“美味しくなさそう” や “物足りなさそう” などのイメージを持っている人もいるのではないのでしょうか。

福井県では、「減塩」を“やってみたい”と前向きにとらえて取り組んでもらうよう、「省エネ」とかけて「省塩」という表現で、県民の方の食塩摂取量を減らす取り組みを行います。

自分のため、周りの大切な人のため、県民のために、**食塩の摂り過ぎを省く「省塩」**と一緒に取り組んでみませんか。

省 塩

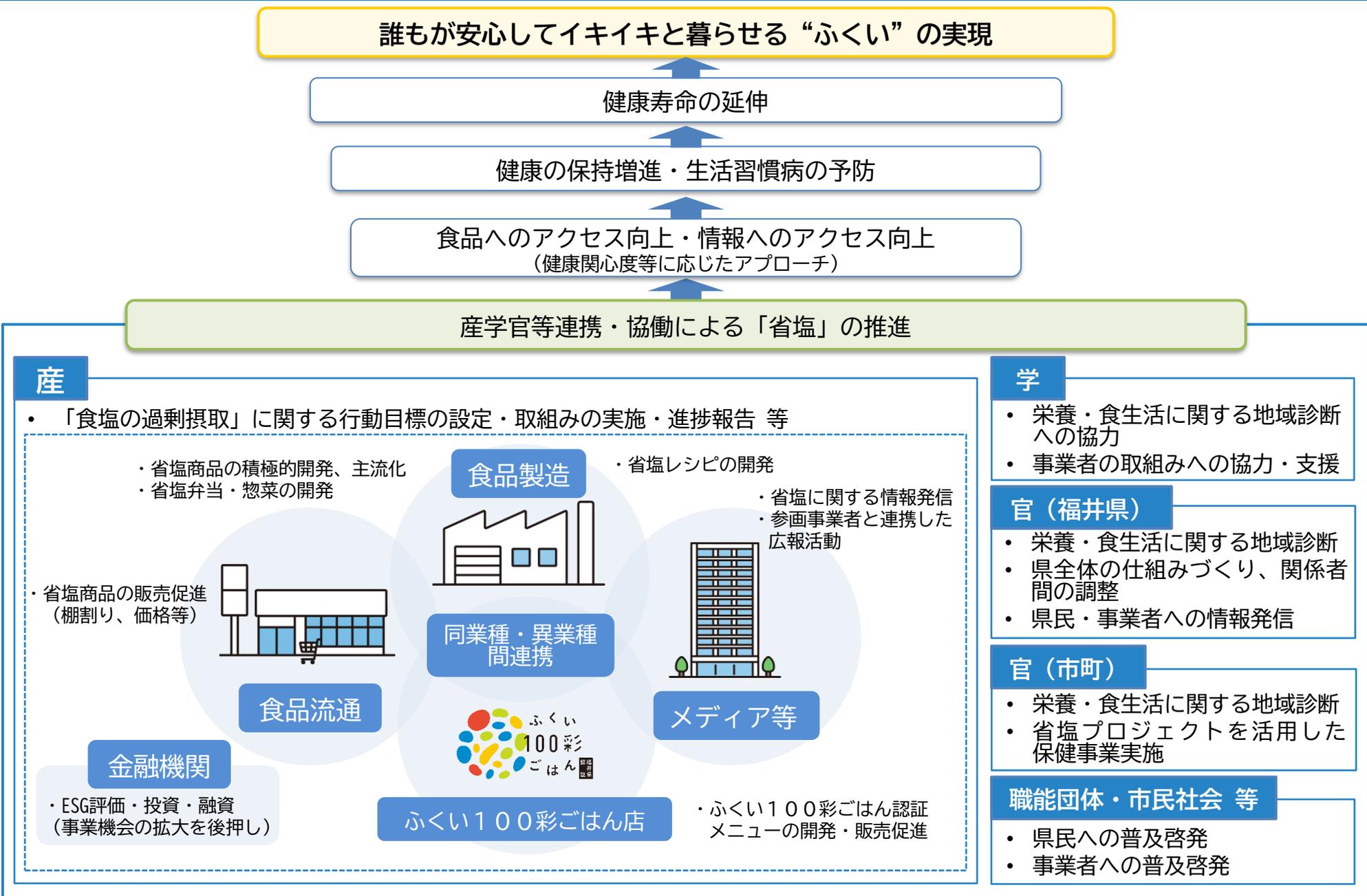
家は省エネ。食事は省塩。

地球環境にやさしいのは省エネ。体内環境にやさしいのは省塩。

省エネは家計を救う。省塩は家族を救う。

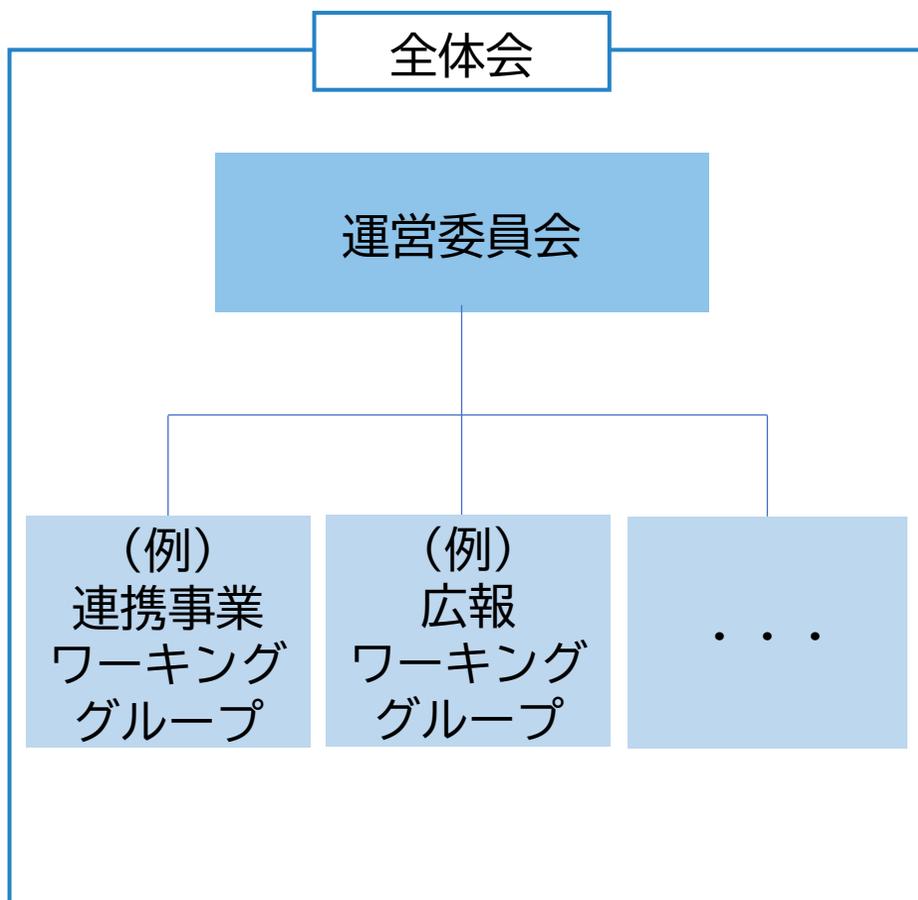
省塩で育った子は、省塩で育てる親になる。

2 本プロジェクトの概要 ー産学官等連携で取り組む「ふくい省塩プロジェクト」の枠組みー



2 本プロジェクトの概要 —体制・取組内容—

- 「ふくい省塩プロジェクト」の運営事務は県が実施する。
- 運営委員会は省塩プロジェクトのコアメンバーや有識者を委員とし、省塩プロジェクト全体での取組の方針等を検討・決定する。
- 全体会は省塩プロジェクトメンバー全体の会合（交流会）で、省塩プロジェクトの目標の共有や意見交換・情報交換等を行う。
- 事業者連携による取組みを行う際など、必要に応じてワーキンググループを設置し、企画・運営を行う。



組織	主な取組内容	開催頻度
運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトの目標設定と目標達成に向けたアクションプランの策定に係る検討 ・プロジェクトの取組状況の進捗管理 ・プロジェクトに係る規約の策定 ・各種行事の検討 	2～3回/年
全体会	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトの目標、参画事業者の行動目標の共有 ・事業者連携の推進に係る検討 ・事業者や市町の取組紹介、意見交換 	1回/年
ワーキンググループ ※必要に応じ設置	<ul style="list-style-type: none"> ・県民向け普及啓発イベント・キャンペーンなど事業者連携による取組み等に係る企画・運営 	必要に応じて開催

3 参画事業者のメリット

参画事業者のメリット

1. 単独の中小企業では対応しづらい（省塩に関する）新市場開拓などの大規模プロジェクトに参画できるとともに、新市場での売上拡大などの効果が期待できます。
2. 県民の健康づくりを重視し、地域に貢献する企業として、従業員が仕事や企業に前向きな気持ちを持ちやすくなり、エンゲージメント向上が期待できます。
3. 行政、学術、他事業者等関係者との情報交換、連携の構築・拡大ができます。
情報交換会・交流会を開催し、事業者連携の推進に関する企画や食環境づくりに関する情報提供、行政や他事業者の取組事例の紹介などを行う予定です。
4. 地域貢献等の活動として、本プロジェクト参画を標榜でき、企業イメージの向上につながります。
5. 省塩を通じた県民の健康づくりに積極的に取り組む事業者として、県がウェブサイト等で対外的にPRします。

4 参画原則

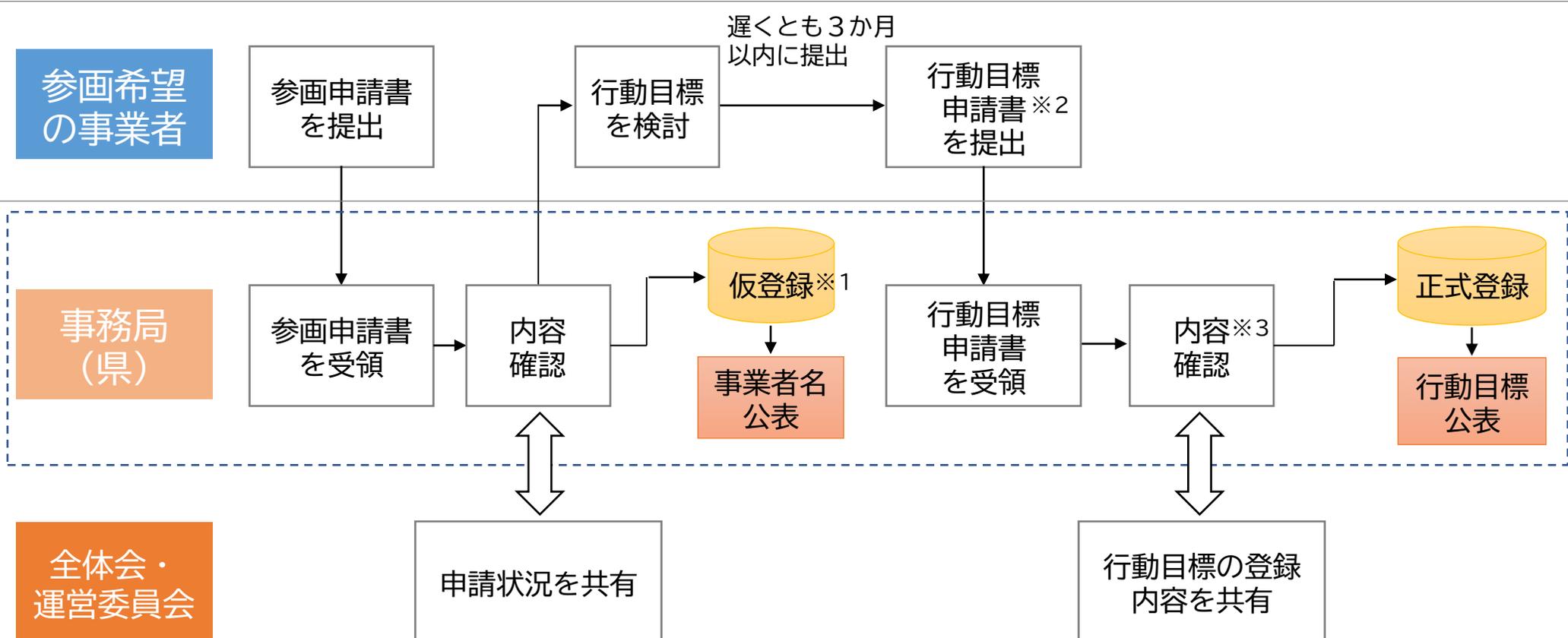
1. 県が進める省塩による健康づくりに賛同し、県民に広く発信すること
2. 「食塩の過剰摂取」に対する行動目標を設定すること
3. 行動目標は、ウォッシュ（注）にならないものとする
こと
(注) 「ウォッシュ」とは、消費者等への訴求効果を狙い、表面的な取組み、見せかけの取組みを行うことをいいます。
4. 行動目標設定後、進捗状況を毎年報告すること
5. 行動目標の進捗状況が原則公表されることに同意すること
6. 省塩プロジェクトの取組推進を阻害しないこと
7. 反社会的組織・活動に関わりがないこと

※「ウォッシュ」の具体的な例

- ・実質的な減塩効果がない商品：チラシやPOPで「減塩」と謳っているが、実際には塩分量が通常商品（減塩に配慮していない商品）とほとんど変わらない商品
- ・一時的なキャンペーンの実施：短期間、1回限りの減塩メニューの提供を行い、その後は元に戻すような取組み
- ・消費者への誤解を招く表示・広告：特定の商品だけが塩分控えめ商品であるにも関わらず、全ての商品に該当するように見せかける表示・広告

5 参画の流れ①

参画事業者募集は年2回程度を想定



- ※1 この時点で、福井県のウェブサイトにも事業者名を公表させていただきます。
- ※2 「食塩の過剰摂取」に対する行動目標を1つ以上設定し、提出していただきます。
- ※3 有識者委員に共有し、内容確認を行います。

5 参画の流れ②

ステップ1 参画希望 申請

- ①福井県の専用サイトの「ふくい省塩プロジェクト」参画事業者募集のページから、「ふくい省塩プロジェクト」参画の手引き（本手引）を確認します。
<https://www.kenko-seisaku.pref.fukui.lg.jp/nutrition/view/shouensankaku>
- ②本手引きや記入例を参照しながら参画希望申請書を記載します（Excelまたはフォーム）。
- ③メールでページ下部のアドレスに送付またはフォームを送信します。

仮登録

- ・事務局から、受領確認のメールが届きます。
- ・事務局で記載内容に漏れがないかなど確認します。
- ・事務局から仮登録完了をお知らせします。

ステップ2 行動目標 提出

- ④行動目標について内容を検討します。
- ⑤本手引や記入例を参照しながら行動目標申請書を記載します（Excelまたはフォーム）。
- ⑥メールでページ下部のアドレスに送付またはフォームを送信します。
※行動目標申請書は、参画希望申請から原則3か月以内にご提出ください。

正式 登録

- ・事務局から、受領確認のメールが届きます。
- ・事務局で記載内容に漏れがないかなど確認します。
- ・必要に応じて有識者委員に共有します。
- ・運営委員会にて、申請内容を確認します（公開可能な内容のみ）。
- ・事務局から、正式登録完了をお知らせします。

【問合せ先】 福井県健康福祉部健康医療局健康政策課

Mail : kenko-seisaku@pref.fukui.lg.jp

TEL : 0776-20-0352

6 申請内容

ステップ1
参画希望
申請

仮登録

ステップ2
行動目標
提出

正式
登録

項目	記載内容
事業者の業種	食品製造事業者、食品流通事業者、メディア、その他（ ）
事業者名	正式名称（フリガナ）
所在地	郵便番号、住所
代表者名	代表者の氏名
サイトURL	記載は任意です。
資本金	記載は任意です。
担当者	担当者名、所属部署、役職、連絡先（メール、電話）
参画原則への同意	参加原則に関する同意にチェック

項目	記載内容
取組目標	食塩の過剰摂取に対する取組目標（定量的に測れることが望ましい）
行動計画	どのような取組みをいつ行うか、目標を達成するための具体的な行動計画（可能な限り年次単位で記載）
実施期間	いつからいつまで取り組むか（2029年度（令和11年度）までの期間）
評価指標	取組みをモニタリングするための評価指標
現状値	評価指標の直近の値
PRコメント	事業者のPR、本プロジェクトに期待すること、意気込み など

【取組の例】 ※ここでの「省塩・減塩」とは、現状よりも食塩相当量を減らしたものをいう。

- ・全製造商品の食塩相当量を減らす
- ・減塩（省塩）弁当・惣菜の販売数量を増やす
- ・100彩ごはんの省塩プレミアムメニューを開発する
- ・省塩（減塩）に関する特集ページを掲載する
- ・省塩（減塩）の商品数を増やす
- ・省塩（減塩）商品の取扱数を増やす
- ・全レシピの50%を省塩（減塩）レシピにする
- ・省塩（減塩）に関する講座を毎年開催する

7 行動目標の記載例(食品製造)

	記載例 1	記載例 2
取組目標 ※ 1	2029年度までに、全製造商品の食塩相当量を2024年度比の10%減らす。	新たに食塩の過剰摂取に配慮した、省塩（減塩）弁当を3種開発し、販売数量を類似弁当の2倍にする。
行動計画 ※ 1、2	毎年、1年間に全製造商品の平均食塩相当量を前年度比の2.5%減らす。	2025年度 省塩弁当を新たに3種開発する。 2026年度～販売開始し、店頭や新聞折込チラシ、SNSで案内する。
実施期間	2025年4月～2030年3月	2025年4月～2030年3月
評価指標	全製造商品の平均食塩相当量の減少率（100g当たり）	省塩弁当の商品数 年間販売数量
現状値	平均食塩相当量 ○g（100g当たり）	省塩弁当の商品数 0品 類似弁当の年間販売数量 ○○個
PRコメント	商品の食塩相当量を減らすことで、商品販売を通じてお客様の食塩摂取量の削減（省塩）に貢献します。	食塩の過剰摂取に配慮した省塩弁当を開発・販売し、当該商品の売上拡大を通じてお客様の食塩摂取量の削減に貢献します。

※ 1 2029年度（令和11年度）までの期間での取組目標と行動計画を記載してください。

※ 2 行動計画は、可能な限り年次単位で記載するなど目標達成に向けて段階的に記載してください。

（注 1）複数の事業者で取り組むことも可能です。複数の事業者で取り組む場合は、事業者ごとに行動目標の提出をお願いします。

（注 2）「省塩・減塩」は現状よりも食塩相当量を減らしたものをいいます。

（注 3）秘匿化を希望する項目がある場合は、その項目と理由を記入してください。

7 行動目標の記載例(食品流通)

	記載例3	記載例4
取組目標 ※1	省塩(減塩)商品の取扱数を、通常商品の30%に増やす。	省塩(減塩)商品の売上数を2024年度比の2倍に増やす。
行動計画 ※1、2	2025年度 お客様アンケートを実施し、ニーズ調査を行う。 2026～2027年度 取扱数を20%に増やす。 2028～2029年度 取扱数を30%に増やす。	月に1回、特売日を設定する。 特売日に合わせて試食コーナーや商品を活用したレシピ紹介を行い、省塩商品をお客様に知ってもらう。
実施期間	2025年4月～2030年3月	2025年4月～2030年3月
評価指標	省塩商品の取扱数	省塩商品の売上比
現状値	省塩商品の取扱数 ○品(2025年3月現在) (通常商品の10%)	省塩商品の売上 年間 ○○円(2024年度) ※非公表
PRコメント	省塩商品の取扱数を増やし、お客様の省塩商品のアクセスを向上します。	省塩商品の特売日や試食コーナー、レシピ紹介を行うことにより、お客様に省塩商品を知ってもらい、省塩に関する意識の向上を図ります。

※1 2029年度(令和11年度)までの期間での取組目標と行動計画を記載してください。

※2 行動計画は、可能な限り年次単位で記載するなど目標達成に向けて段階的に記載してください。

(注1) 複数の事業者で取り組むことも可能です。複数の事業者で取り組む場合は、事業者ごとに行動目標の提出をお願いします。

(注2) 「省塩・減塩」は現状よりも食塩相当量を減らしたものをいいます。

(注3) 秘匿化を希望する項目がある場合は、その項目と理由を記入してください。

7 行動目標の記載例(ふくい100彩ごはん店)

	記載例5	記載例6
取組目標 ※1	「ふくい100彩ごはん」省塩プレミアムメニューを2商品開発する。	「ふくい100彩ごはん」認証メニューの売上数を1.5倍に増やす。
行動計画 ※1、2	1年間で省塩プレミアムメニューを2商品開発する。店頭やウェブサイトで「ふくい100彩ごはん」をPRする。	県が実施する「ふくい100彩ごはん」キャンペーンを活用し、積極的に周知することで、認証メニューの売上比を2024年度の1.5倍にする。
実施期間	2025年4月～2026年3月	2025年4月～2026年3月
評価指標	省塩プレミアムメニュー認証数 ○品	100彩ごはん認証メニューの月の売上比
現状値	省塩プレミアムメニュー認証数 0品	100彩ごはん認証メニューの平均売上数 ○/月
PRコメント	おいしく、減塩した「省塩プレミアムメニュー」の提供を通じて、お客様の食得摂取量の削減(省塩)に貢献します。	100彩ごはんのキャンペーンを通じて、お客様に健康的な食事であることを知ってもらい、選択してもらうことで、お客様の健康づくりに貢献します。

※1 2029年度(令和11年度)までの期間での取組目標と行動計画を記載してください。

※2 行動計画は、可能な限り年次単位で記載するなど目標達成に向けて段階的に記載してください。

(注1) 複数の事業者で取り組むことも可能です。複数の事業者で取り組む場合は、事業者ごとに行動目標の提出をお願いします。

(注2) 「省塩・減塩」は現状よりも食塩相当量を減らしたものをいいます。

(注3) 秘匿化を希望する項目がある場合は、その項目と理由を記入してください。

7 行動目標の例(メディア(情報発信))

	記載例7	記載例8
取組目標 ※1	省塩（減塩）レシピを毎月1つ作成し、情報発信する。	省塩の特集記事を毎年1本掲載し、省塩の認知・関心度を向上させる
行動計画 ※1、2	毎月、省塩レシピを1つ作成し、年間12レシピ発信する。 ウェブサイトで発信し、閲覧数をモニタリングする。 ※当社における省塩レシピは、「ふくい100彩ごはん」の基準と同じ食塩量または、従来公開している類似レシピよりも25%以上食塩を削減したものとする。	県民向けに省塩に関する特集記事を毎年1本掲載する。 省塩に関する読者アンケートを実施し、記事掲載による認知・関心度の変化を調査する。
実施期間	2025年4月～2030年3月	2025年4月～2027年3月
評価指標	省塩レシピ数 ウェブサイトの当該ページ閲覧数	記事の掲載回数 読者の認知・関心度
現状値	取組みなし	取組みなし
PRコメント	県民の方が実践しやすい簡単で短時間できる省塩レシピを開発し、県民の方の食塩摂取量の減少に貢献します。	省塩に関する情報や、省塩プロジェクトに参画する事業者の取組を紹介し、「省塩」に対する理解を深めていただきます。

※1 2029年度（令和11年度）までの期間での取組目標と行動計画を記載してください。

※2 行動計画は、可能な限り年次単位で記載するなど目標達成に向けて段階的に記載してください。

（注1）複数の事業者で取り組むことも可能です。複数の事業者で取り組む場合は、事業者ごとに行動目標の提出をお願いします。

（注2）「省塩・減塩」は現状よりも食塩相当量を減らしたものをいいます。

（注3）秘匿化を希望する項目がある場合は、その項目と理由を記入してください。